

## 平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 焼津水産化学工業株式会社

コード番号 2812 URL <http://www.yskf.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 坂井 和男

問合せ先責任者 (役職名) 経営統括本部 経理部長

(氏名) 塩澤 泰

TEL 054-202-6044

四半期報告書提出予定日 平成21年8月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	5,510	8.2	388	22.9	432	23.4	284	35.5
21年3月期第1四半期	5,092	—	316	—	350	—	210	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	20.26	—
21年3月期第1四半期	14.95	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	21,192	16,769	79.1	1,193.48
21年3月期	20,535	16,525	80.5	1,176.11

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 16,769百万円 21年3月期 16,525百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
21年3月期	—	10.00	—	14.00	24.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	10.00	—	9.00	19.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

※ 21年3月期 期末配当14円00銭は、記念配当5円00銭が含まれております。

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	10,450	0.9	535	1.0	600	2.4	350	5.9	24.91
通期	20,350	1.3	1,070	4.8	1,200	5.2	700	13.4	49.82

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は5ページ「定性的情報・財務諸表等 4. その他」をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 14,056,198株 21年3月期 14,056,198株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 5,109株 21年3月期 5,059株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 14,051,102株 21年3月期第1四半期 14,051,908株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。次期見通しについては、5ページ「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年6月30日）におけるわが国経済は、昨年の米国のサブプライムローン問題に端を発した世界的金融危機の影響が引続き大きな影をおとし、一部に在庫調整が進み生産の回復が見られるものの、企業収益・設備投資などの大幅な減少、雇用情勢の一層の悪化、個人消費の低迷など、依然として厳しい状況が続いております。

食品業界におきましても、食品偽装問題、「食」の安心・安全問題、原材料価格の不安定化、消費の低迷及び販売価格の低下が進んでいることなどにより売上高・収益環境は厳しい状況が続いております。

このような状況下の中で、当社グループ（当社及び連結子会社）は「おいしさと健康」をテーマに「3ヵ年中期経営計画」の最終年度として、着実に成果を上げるべく注力してまいりました。

当社の主力である調味料部門では、当社の優れた乾燥技術を駆使した粉末製品が順調に推移しており、また新たに「風味氷結シリーズ」「低塩調味料シリーズ」などの新製品の開発・発売により中食分野、業務用マーケットへの展開を進めてまいりました。機能食品事業では「N-アセチルグルコサミン」「海洋性コラーゲン」などの当社独自の製品の拡販に注力し、素材としての市場拡大に注力してまいりました。また、水産物事業では、新規取引先の開拓と並行して大幅なリストラを進めたことから、前年比大幅な業績向上がみられました。

以上の結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、55億10百万円（前年同期比8.2%増加）、営業利益は経費削減効果もあいまって3億88百万円（同22.9%増加）、経常利益は4億32百万円（同23.4%増加）、四半期純利益は2億84百万円（同35.5%増加）の増収増益となりました。

当第1四半期連結累計期間のセグメント別の業績は以下のとおりです。

#### （調味料事業）

調味料事業は、個人消費の低下により国内需要が伸び悩みましたが、高度な乾燥技術を要する粉体調味料の新需要が大きく売上を牽引し、当第1四半期連結累計期間の売上高は、27億15百万円（前年同期比1億34百万円、5.2%増加）、営業利益は3億73百万円（同1億13百万円、43.6%増加）となりました。

#### （機能食品事業）

機能食品事業は、機能性素材製品の売上が順調に推移しましたが、医療栄養食（レトルト）分野で一部取引先が内製化したため、当第1四半期連結累計期間の売上高は、17億58百万円（同35百万円、2.0%減少）に留まりましたが、営業利益は1億67百万円（同6百万円、4.2%増加）となりました。

#### （水産物事業）

水産物事業は、魚価の変動を価格転嫁できにくく、利益確保が難しい部門でしたが、新規取引先開拓の営業努力と、大幅な経費削減などのスリム化を実施した結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、7億83百万円（同3億3百万円、63.4%増加）、営業利益は43百万円（同41百万円増加）となり大幅な収益改善となりました。

#### （その他の事業）

その他事業は、受託加工製品及びその他調味料であります。当第1四半期連結累計期間の売上高は、2億53百万円（同14百万円、6.3%増加）となりましたが、利益率が低位な上に製造コストを賄いきれず、6百万円の営業損失を計上しました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末比6億56百万円増加し、211億92百万円となりました。これは有形固定資産が減価償却費などで29百万円減少したものの、受取手形・売掛金(4億37百万円増加)、現金及び預金(2億27百万円増加)などの流動資産が5億68百万円増加したことに加え、投資その他資産の投資有価証券の評価が2億7百万円増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末比4億12百万円増加し44億22百万円となりました。これは未払法人税1億1百万円、借入金1億3百万円などが減少したものの、買掛金2億82百万円、賞与引当金1億19百万円などが増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末比2億44百万円増加し167億69百万円となりました。これは利益剰余金89百万円、その他有価証券評価差額金の1億23百万円などの増加が主な要因であります。

この結果、自己資本比率は79.1%となりました。

### (2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、前連結会計期間末に比べ4億14百万円増加し、24億32百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における営業活動の結果、得られた資金は5億46百万円(前年同期比4億94百万円増加)となりました。

この内訳の主なものは、売上債権の増加4億37百万円(同1億80百万円減少)、法人税等の支払額2億60百万円(同60百万円増加)などの資金減少要因に対し、税金等調整前四半期純利益の4億31百万円(同81百万円増加)、減価償却費1億60百万円(同20百万円増加)、仕入債務の増加2億82百万円(同2億42百万円減少)などの資金増加要因によるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における投資活動の結果、増加した資金は1億44百万円(同4億5百万円増加)となりました。

この内訳の主なものは、定期預金の預入に対し払戻が1億87百万円多かったことと、設備投資による支出が41百万円(同2億33百万円減少)であったことによるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における財務活動の結果、使用した資金は2億83百万円(同1億87百万円増加)となりました。

この内訳の主なものは、記念配当を含む配当金の支払に1億56百万円(同57百万円増加)、短期借入金の純減少1億4百万円(同1億32百万円増加)などによるものです。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、平成21年5月15日付「平成21年3月期 決算短信」における公表値に対して概ね順調に推移しております。

しかし、低迷が続く経済環境の中で、食品業界も引き続き厳しい経営環境が続くものと思われま

す。当社グループは、今後とも新製品の開発及び上市、調味料・機能性食品のシェア拡大、コスト削減等の施策を継続し当初計画を達成させる方針であります。

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想の変更はありません。

### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,401,439	3,174,227
受取手形及び売掛金	4,892,233	4,454,361
有価証券	100,154	100,135
商品及び製品	1,414,923	1,519,193
原材料及び貯蔵品	1,283,816	1,290,412
繰延税金資産	115,402	97,405
その他	125,972	128,162
貸倒引当金	△10,900	△9,300
流動資産合計	11,323,042	10,754,597
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,678,584	2,709,985
機械装置及び運搬具（純額）	1,532,040	1,589,685
土地	2,389,732	2,389,732
リース資産（純額）	34,110	—
建設仮勘定	99,598	71,027
その他（純額）	96,116	98,793
有形固定資産合計	※1 6,830,184	※1 6,859,225
無形固定資産	52,985	54,215
投資その他の資産		
投資有価証券	2,201,873	1,994,457
繰延税金資産	434,468	508,500
その他	379,550	375,406
貸倒引当金	△35,537	△18,654
投資その他の資産合計	2,980,354	2,859,710
固定資産合計	9,863,524	9,773,150
繰延資産	5,604	7,473
資産合計	21,192,171	20,535,222

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,206,443	1,923,456
短期借入金	184,386	266,610
1年内返済予定の長期借入金	306,500	328,000
1年内返済予定のリース債務	6,038	—
未払法人税等	171,613	272,918
未払消費税等	58,227	12,924
賞与引当金	255,149	135,731
役員賞与引当金	11,850	—
その他	547,897	419,049
流動負債合計	3,748,106	3,358,689
固定負債		
長期借入金	117,500	117,500
リース債務	29,777	—
繰延税金負債	34,352	28,108
退職給付引当金	342,535	350,261
長期未払金	139,731	144,531
その他	10,465	10,465
固定負債合計	674,363	650,867
負債合計	4,422,470	4,009,557
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,617,642	3,617,642
資本剰余金	3,414,133	3,414,133
利益剰余金	9,829,962	9,740,768
自己株式	△5,671	△5,621
株主資本合計	16,856,067	16,766,923
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△110,427	△233,640
為替換算調整勘定	24,060	△7,617
評価・換算差額等合計	△86,366	△241,258
純資産合計	16,769,701	16,525,664
負債純資産合計	21,192,171	20,535,222

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
売上高	5,092,386	5,510,216
売上原価	4,013,170	4,299,576
売上総利益	1,079,215	1,210,639
販売費及び一般管理費	※1 762,949	※1 822,064
営業利益	316,266	388,575
営業外収益		
受取利息	4,114	3,952
受取配当金	29,479	24,184
受取賃貸料	2,839	4,937
その他	8,899	17,718
営業外収益合計	45,333	50,792
営業外費用		
支払利息	5,259	3,205
為替差損	—	810
開業費償却	—	1,775
その他	6,018	1,384
営業外費用合計	11,277	7,176
経常利益	350,321	432,192
特別損失		
固定資産売却損	—	31
固定資産除却損	308	1,098
特別損失合計	308	1,129
税金等調整前四半期純利益	350,013	431,062
法人税等	※2 139,940	※2 146,360
四半期純利益	210,073	284,702

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	350,013	431,062
減価償却費	140,700	160,708
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	7,708	△7,725
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	332	18,483
賞与引当金の増減額 (△は減少)	110,501	119,418
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	9,135	11,850
受取利息及び受取配当金	△33,594	△28,136
支払利息	5,259	3,205
為替差損益 (△は益)	—	△4
有形固定資産除却損	308	1,098
売上債権の増減額 (△は増加)	△617,805	△437,560
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△254,626	113,560
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	4,546	4,454
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	△8,095	△4,519
仕入債務の増減額 (△は減少)	524,469	282,448
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△18,496	48,888
長期未払金の増減額 (△は減少)	△1,080	△4,800
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	1,372	39,706
その他	1,106	29,090
小計	221,755	781,229
利息及び配当金の受取額	33,608	28,136
利息の支払額	△4,208	△2,734
法人税等の支払額	△199,974	△260,463
営業活動によるキャッシュ・フロー	51,179	546,168
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△795,245	△422,778
定期預金の払戻による収入	812,378	610,245
有形固定資産の取得による支出	△275,247	△41,562
有価証券の取得による支出	—	△19
投資有価証券の取得による支出	△753	△1,013
その他	△1,667	△128
投資活動によるキャッシュ・フロー	△260,534	144,744
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	28,092	△104,070
長期借入金の返済による支出	△25,499	△21,500
自己株式の取得による支出	△89	△49
配当金の支払額	△98,767	△156,565
リース債務の返済による支出	—	△1,437
財務活動によるキャッシュ・フロー	△96,263	△283,622
現金及び現金同等物に係る換算差額	△675	7,389
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△306,292	414,679
現金及び現金同等物の期首残高	2,583,273	2,017,981
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	26,580	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 2,303,561	※1 2,432,660

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	調味料事業 (千円)	機能食品事業 (千円)	水産物事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去または全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	2,580,903	1,794,157	479,109	238,215	5,092,386	—	5,092,386
(2) セグメント間の内部売上高または振替高	26,609	—	2,720	6,148	35,478	(35,478)	—
計	2,607,512	1,794,157	481,830	244,364	5,127,865	(35,478)	5,092,386
営業利益	259,878	161,232	2,035	61,907	485,054	(168,787)	316,266

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

	調味料事業 (千円)	機能食品事業 (千円)	水産物事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去または全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	2,715,150	1,758,822	783,030	253,213	5,510,216	—	5,510,216
(2) セグメント間の内部売上高または振替高	34,164	210	4,262	11,382	50,019	(50,019)	—
計	2,749,314	1,759,032	787,293	264,595	5,560,236	(50,019)	5,510,216
営業利益	373,128	167,993	43,036	△6,242	577,914	(189,338)	388,575

(注) 1. 事業区分の方法

当連結グループの事業区分の方法は、製品・商品の種類、性質等の類似性を考慮のうえ、食品メーカーに対する業務用の各種調味料の部門、キッチン・キトサンなど海洋機能性素材、またそれらを原料とした製品群及び、医療栄養食を主体とする機能性食品部門、冷凍マグロ、カツオ加工、倉庫業を中心とする水産物事業部門、業務用・家庭用のワサビ類を中心とする香辛料や個包装食品などのその他の部門とに区分しております。

2. 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
調味料事業	各種エキス、各種オイル、各種スープ、各種粉末調味料、風味調味料、各種具・惣菜、各種低塩調味しょうゆ・しお
機能食品事業	各種海洋機能性素材、各種オリゴ糖類、キッチン・キトサン類、医療栄養食
水産物事業	冷凍マグロ、カツオ加工、魚問屋、倉庫業
その他の事業	各種ワサビ類、各種辛子類、各種香辛料、各種個包装食品、各種受託加工類

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	日本 (千円)	中国 (千円)	計 (千円)	消去または全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	5,083,210	9,175	5,092,386	—	5,092,386
(2) セグメント間の内部売上高または振替高	—	89,100	89,100	(89,100)	—
計	5,083,210	98,276	5,181,486	(89,100)	5,092,386
営業利益	484,861	3,992	488,854	(172,587)	316,266

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

	日本 (千円)	中国 (千円)	計 (千円)	消去または全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	5,500,816	9,399	5,510,216	—	5,510,216
(2) セグメント間の内部売上高または振替高	8,500	43,929	52,429	(52,429)	—
計	5,509,316	53,328	5,562,645	(52,429)	5,510,216
営業利益	582,615	△4,701	577,914	(189,338)	388,575

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）及び当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。